

MDD オビツ 50 フレーム化改造

これは MDD にオビツ 50 のフレームを導入する為の改造方法を記したものです

この改造方法は暫定的なものであり、今後変更される可能性があります

○用意する物

- ・ 上下腕部及び足を除く MDD のソフビパーツ及び背骨パーツ
 - ・ 背骨と首ジョイントを除くオビツ 50 用内部パーツ及び上下腕と足のソフビパーツ
 - ・ プラスドライバー、ニッパー、デザインナイフ、のこぎり、定規、筆記用具
- 8mm と 3mm のドリル
- ・ 8mm のアルミパイプもしくは 8mm の ABS 棒かパイプ

ABS 棒/パイプはハンズやホームセンターで購入出来ますが、オビツ 60 二重間接用内部パーツの交換用モモ・スネ軸でも代用が可能です

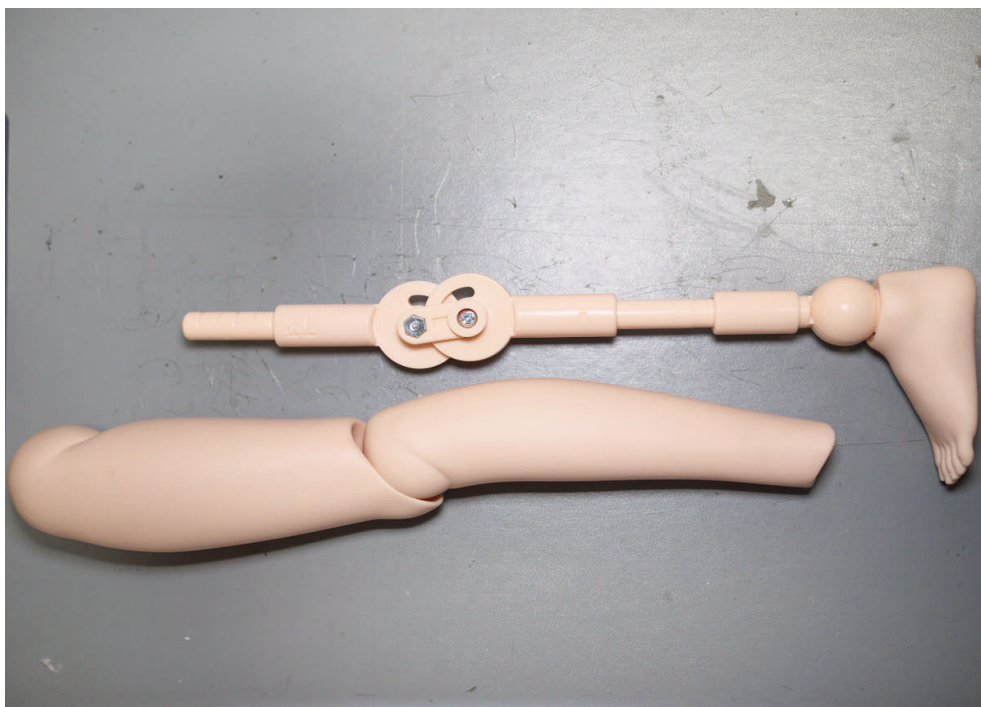
※一部 MDD の内部パーツ(背骨部分)を使用しています

用意出来ない場合、オビツ 60 用の背骨パーツかトイスケが必要になります

※下半身の強化のみが目的の場合、脚部及び背骨の加工のみ行って下さい

上半身はそのまま無加工で MDD の物が付きます

脚部



上図はパーツの位置関係を示した物です(腰間接パーツは中に入っています)

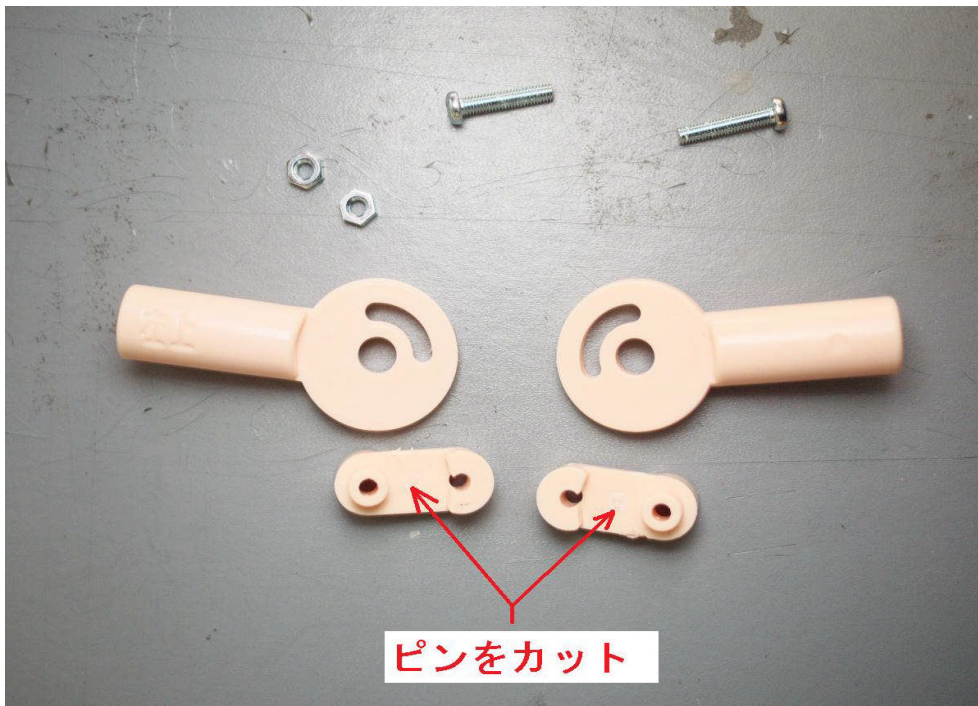
二重間接の下側は無かった事にする状態となります・・・勿体無いデスネ



まず膝を分解します

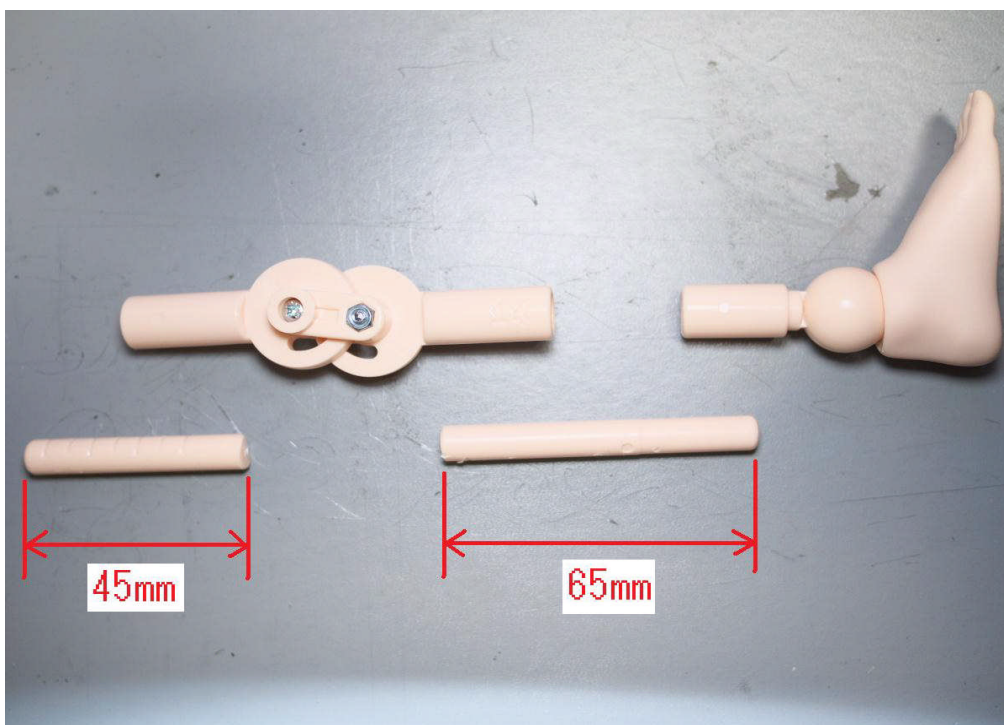
膝頭のパーツを外すと間接部の左右カバーを外せるようになります

これ等のカバーはもう必要ありません



更にネジを外し間接完全に分解します

そして図の部分にあるピンをニッパーでカットし、再び組立ます



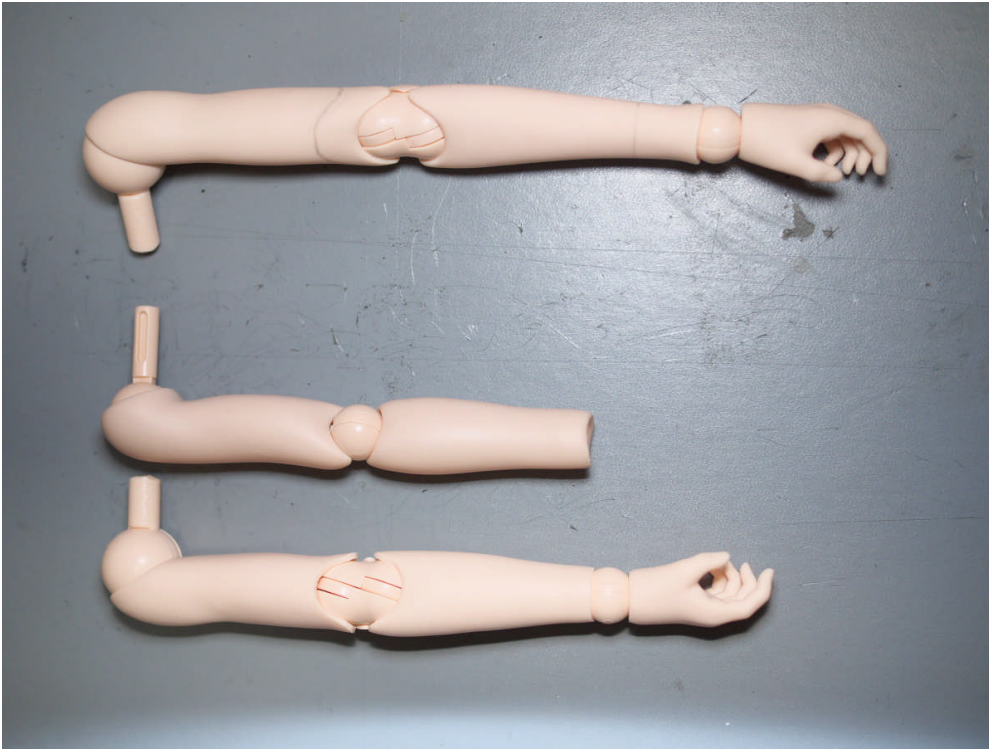
スネ・モモの軸をそれぞれ図の通りの長さにカットします

後は最初の画像の位置関係通りに組み立てていくだけです、

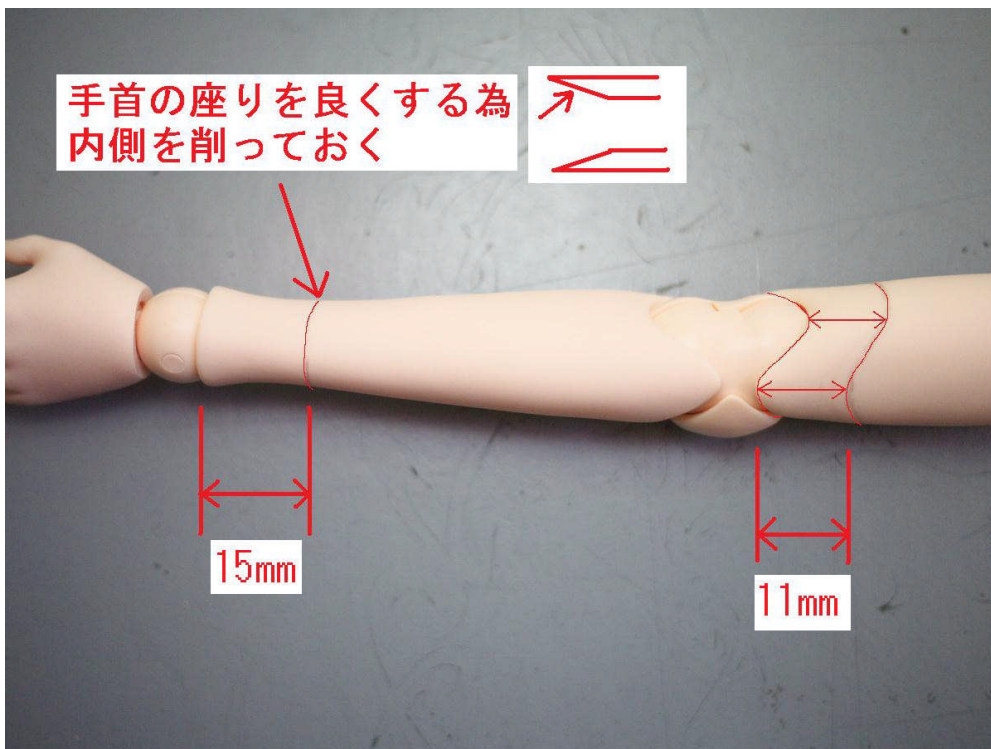
腰間接部は MDD の物より大きい為、非常に入れづらいので気をつけて下さい

ドライヤー等で熱して柔らかくした後、気合入れて押し込んで下さい

腕部



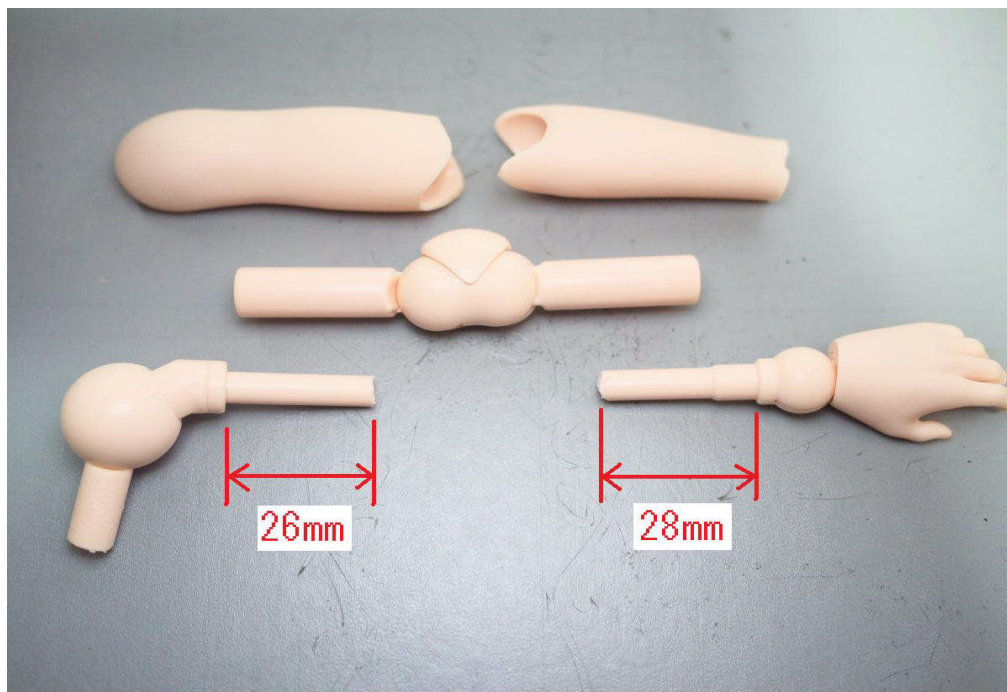
上からオビツ 50 のノーマル、MDD、オビツ 50 短縮状態となります



上下腕部のソフビパーツを上図のようにカットするわけですが、

上腕部はぐねぐねと曲線状に切る必要がある為、慎重な作業が必要となります

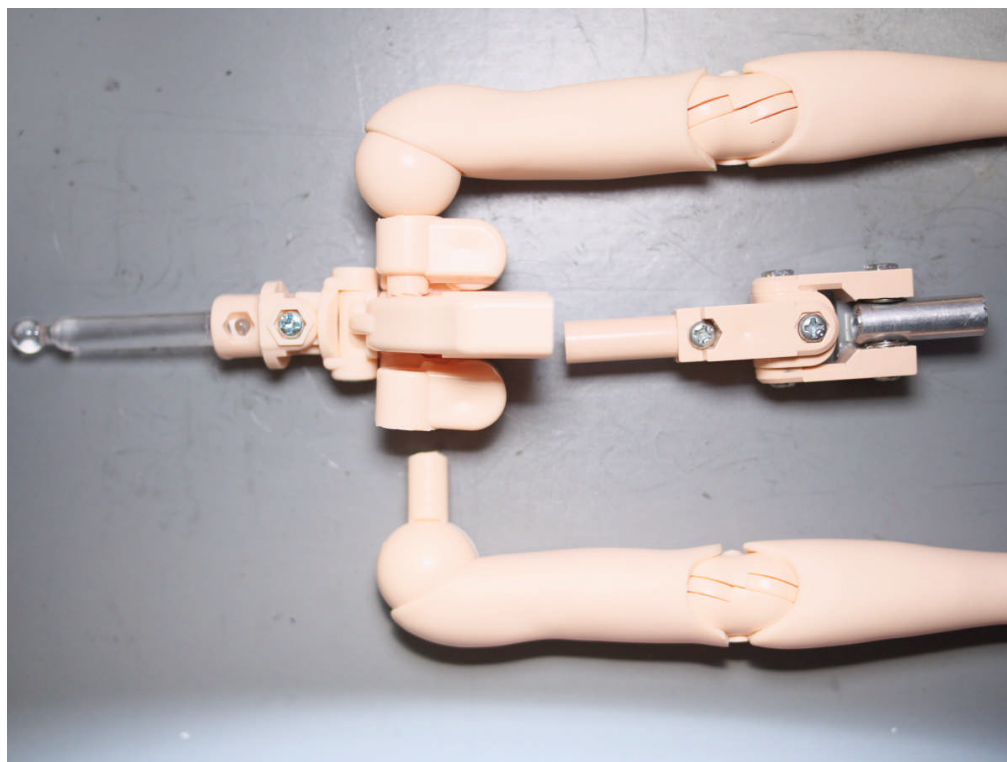
※実際に加工する際はフレームから外して行って下さい



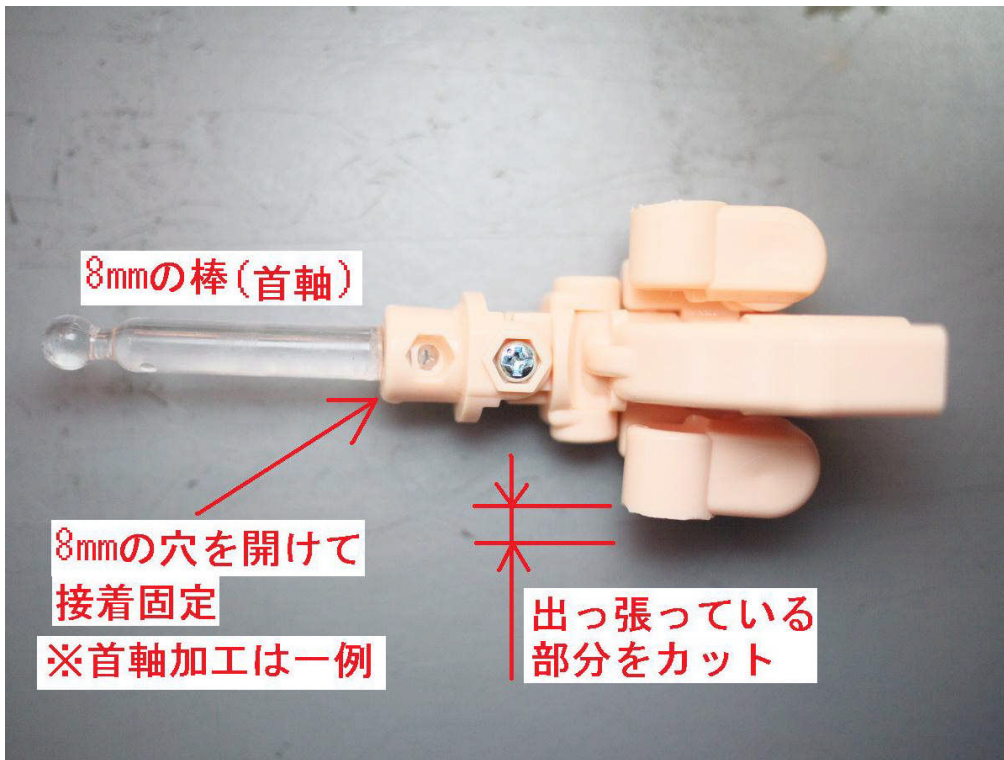
フレームの各接続軸を上図の長さにカットします

図に書き込むのを忘れていたのでここで補足しますが、肩の接続軸を 5mm 程
カットする必要があります(肩幅調整の為)

胴体部



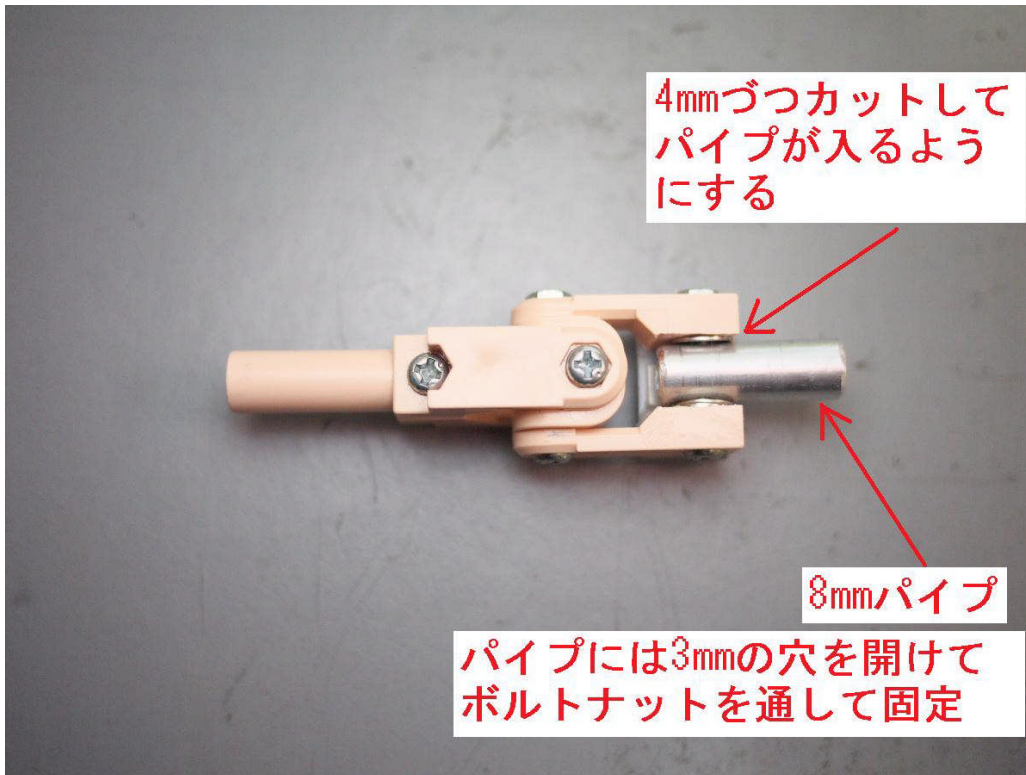
背骨に MDD のパーツを流用しています



まず肩幅を狭める為に肩軸の入る部分の出っ張っている分をカットしてしまいます
首に関しては図の物はオビツ 50 が前後左右と良く動く上に保持力十分なので横着
してみた物なので、真似しない方が良さげです・・・

○首間接の例として

- ・オビツの首ジョイントの上部をカットして筒状にし、そこに POP スタンドを
ネジ留めする
- ・5・6mm ぐらいの太い自遊自在を上図同様に穴を開けて接着し、
テープで太さを調整してヘッドを差し込む
- ・MDD の首の長さをオビツ首ジョイントの縁部分に合わせてカットし接着、
オビツヘッドはそのまま、MDD(DD)ヘッドはジョイントを分解して挟む



今回腕部以上に悩ましい部分がこの背骨です

図の物は MDD の背骨を流用しています(これが一番組立時に障害が無い)

加工部分は図と現物を見比べていただければ概ね判るかと思えます

要するに軸が無いので無理矢理増設したわけです・・・

強度が心配な場合はパテ等でパイプを固定すると良いでしょう

(試してませんがオビツ 50 の股間パーツに直接接着してしまうのも手やも・・・

この場合股間パーツが破損したら交換が面倒になります)

最終組立

特に注意点等はありません

サクッと組み立ててしまいましょう

股関節部の隙間が気になる場合は、股間パーツの軸の先端を外してみてください